

- 年頭の挨拶…………… 1
- 平成22年のできごと… 2
- 友好町締結20周年… 3
- 町の話題…………… 4
- お知らせ…………… 5
- イマダス他…………… 6

# 広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/総務課企画担当 ☎0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.imabetsunet.pref.aomori.jp>

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます



今別町長 小嶋 正義

町民の皆様と共に平成23年の新しい年を迎えるにあたり、お慶びとお祝いを申し上げます。今年もまた、実り多い成果が達成できるよう、これまでの行政のあり方を参考にしながら一生懸命努力して参る所存であります。

赤字財政から8年ぶりに脱出してから3年が経過しました。この3年間に出来た諸事業はこの財政困難から考えた場合、私にとつて夢のようであり、各市区集会所をはじめ中央公民館の大改修、さらに融雪溝や大泊地区の水道設備の整備、そして昨年は懸案であった役場庁舎の大改修を断行したのであります。

新築を検討した時期もありましたが、財政状況を考えた場合、当分の間はとて不可能でありその間に東北新幹線が全通し新青森駅が開業、さらに5年後には北海道新幹線が新青森から新函館間の開業が確定され、我が町にも(仮称)奥津軽駅が誕生することになっております。これまでの旧庁舎では各関係機関の皆様をはじめ、その他に來町するお客様も多く、町の顔である庁舎をそのままにしておくことは恥ずかしく、また町民の皆様にもご迷惑をかけることを、思い切って大改修となつ

た次第であります。この工事のため財政に大きな負担が生じるのではないかと心配する方もあると思いますが、それは大丈夫であります。この事業は総額1億8千万円程になりますが、22年度の収支決算は一般会計・特別会計の連結決算で1億円以上の赤字とする考えでありますのでご安心ください。

今後の事業計画の中で最も大きいのは温泉開発であります。皆様に親しまれた「浜名温泉」が残念ながら廃業となり、町民の癒しの場がなくなり、大変ご不便を感じている人も多いと思っております。また、北海道新幹線の開通により外からの来町者も多くなると思われますので、温泉等で旅の疲れを癒し、津軽地方、特に上磯地域の景観や人情あふれる田舎の味わいを楽しんでいただき、町の活性化にも結び付けたいと思っております。

温泉開発には約4億5千万円程が必要となりますが、その資金は原燃サイクル事業推進特別対策事業交付金約8千万円、さらに22年度のきめ細かな臨時交付金4千万円の合わせて1億2千万円で23年度に掘削とその他の工事を行い、24年度には建物とその他の建設を完成し営業を始める予定であります。建物等については約3億3千万円の資金が必要となりますが、それらについては去る11月末に上京した際に総務省に赴き、過疎債の活用をお願いしてきたところであります。

間で返済する制度であり年に1千万円程の返済となりますが、我が町の今後の財政見通しから十分可能であり、何ら心配はいりません。

後3年で完全な黒字財政となります。私の在職中には健全財政を確実に達成することを町民の皆様にお約束いたします。

次に取り組むことは、5年後に北海道新幹線の一部開通により誕生する(仮称)奥津軽駅の建設と周辺整備による財政問題であります。現在、駅舎のデザインを検討中であるため建設費を算出できないですが、町の負担は概ね3億円が見込まれております。

駅前整備費は今後の計画変更の内容にもありますが、現段階では6〜7億円を見込み合計で約10億円くらいが必要になるものと考えています。町としては大きな負担となるので県に十分な支援を求めていく考えであり、その準備に入っているところであります。

いづれにしても仮称ではありますが、奥津軽駅の誕生が我が町にとっては活性化に欠くことのできないチャンスであり、万全な体制の基に推進することになります。今後は、財政を勘案しながらの町政の執行となりますので、町民の皆様の更なるご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



今別町議会議長 明田 平苗

新年明けましておめでとうございませう。

昨年末の12月町議会定例会において、議長の重責を担うことになり身の引き締まる思いであります。

微力ではございますが、誠心誠意議長職を全うしたいと存じますので、これまで同様、町議会に対しまして町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

昨年は県民待望の東北新幹線全線が開業し、首都圏がより近づいた感じがいたします。さらに、今年の3月には「はやぶさ」の運行により青森県も高速時代に入り、地域の活性化に結びつくものと期待されるところであります。

我が町では役場庁舎の補修工事が行われ、事務室の移転などにより町民の皆様にはご不便をおかけしましたが、年末には工事が完了し、リニューアルされた庁舎で新年を迎えられたことに喜びを感じております。

今後は、2015年(平成27年)に新青森〜新函館間の北海道新幹線が開通される予定となっており、(仮称)奥津軽駅舎建設や駅前整備、また計画されている温泉開発など、執行機関と議会が一体となって町づくりの様々な課題に取り組んでい

きたいと考えております。

議員一人ひとりが地域に密着した行動が必要であり、その責務と役割を深く認識して活発な議会活動には取り組む決意です。ので、町民の皆様には、町政・議会にこれまで以上の関心を寄せていただきますようお願い申し上げます。

町民の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます。挨拶いたします。

### 謹賀新年

### 平成二十三年元旦

町長	小嶋 正義	町副長	阿部 義治	教育委員長	相内 利男	教育委員	委員 一同	農業委員長	相内 啓紀	選挙管理委員長	委員 一同	代表監査委員	小山 多三郎	監査委員	小嶋 勉
副議長	明田 平苗	議長	中島 邦彦	議員	福士 直治	議員	本郷 良克	議員	福士 和比古	議員	小嶋 三幸次	議員	小嶋 三幸次	議員	小嶋 三幸次

(議席順)

12月22日町議会定例会で議長・副議長選出を行い右のとおり決まりました。

# 平成22年 町の主なできごと あんなこと こんなことが ありました

## 【1月】

- ・平成21年今別町文化賞・スポーツ賞授与式
- ・第24回今別町ふれあいスポーツ大会

## 【2月】

- ・原燃サイクル意見交換会が今別町で開催
- ・今別町消防団鎮火祭
- ・第28回今別町社会福祉大会
- ・第20回婦人芸能祭
- ・西田地区コミュニティハウスオープン

## 【3月】

- ・公民館まつり
- ・町農業委員会委員選挙が行われる  
(会長に相内啓紀氏を選出)

## 【4月】

- ・町内小中学校で入学式  
(今別小に20人の児童が仲間入りしました)
- ・グループホーム「ふれあいの里」オープン
- ・横岡 亘氏瑞光双光章受章

## 【5月】

- ・海峡いまべつ春まつり
- ・地区座談会開催 (町内5会場)

## 【6月】

- ・今別町消防団定期観閲式
- ・今別町植樹祭

## 【7月】

- ・青森今別会創立30周年記念式典
- ・荒馬っ子スクール「野外活動リーダー研修会」
- ・ALTアリソンさん帰国、新ALTシャロンさん来日
- ・県民体育大会で「家庭婦人バレーボール」今別チームが第3位

## 【8月】

- ・荒馬まつり
- ・町民ふれあい文庫オープン
- ・平成22年度今別町成人式 (48人が新成人となる)
- ・大川平荒馬保存会と「和太鼓ドン」交流10周年記念
- ・東郡中学校英語弁論大会で今別中が全部門制覇 (4年連続)

## 【9月】

- ・第18回青森県民駅伝競走大会
- ・今別町生きがい健康づくりと敬老の集い
- ・役場庁舎補修工事始まる
- ・2010スポレクフェスティバルinいまべつ
- ・今別小学校ブログが全日本小学校ホームページ県代表に

## 【10月】

- ・いまべつ秋まつり
- ・住吉辰郎氏が青森県学校保健及び学校安全表彰受賞
- ・全国身障者スポーツ大会水泳競技肢体不自由男子自由形25メートル競技で相内紀貴さん優勝
- ・第11回ラブ・いまべつ会東京交流会
- ・町内全域に光ファイバー網整備

## 【11月】

- ・平成22年度今別町褒賞授与式  
(成田りせ子氏、西條總逸氏)
- ・結集！まるごとお宝自慢市に今別の味を出店
- ・青森明の星高校主催「英語スピーチコンテスト」で今別中2年加賀谷光輝君が最優秀賞受賞
- ・今別中3年、木村ころろさん英語弁論全国大会へ出場

## 【12月】

- ・第27回今別町総合福祉展
- ・今別中学校で「こんにちは！知事です」開催
- ・知内町との友好町締結20周年記念交流会が知内町で開催
- ・役場庁舎補修工事終了



中嶋淳悦さん、さつさんご夫妻

(昭和14年生まれ・西田)

今別町がもっと元気になりますように。3人の子供と5人の孫に恵まれました。どの家族も健康で仲よくと願うものです。



長内 清さん、まい子さんご夫妻

(昭和2年生まれ・西田)

健康で山歩きやゲートボールなどを楽しみたいです。



## 新春インタビュー No.1

今別町内でご夫婦そろって卯年生まれの5組の方々に今年の抱負を伺いました。



太田 弥さん、紀子さんご夫妻

(昭和50年生まれ・山崎)

卯年なので、何が起ころうとピョン、ピョン跳ねて乗り越えていけるよう頑張ります。長男も卯年です。



田中直樹さん、裕子さんご夫妻

(昭和50年生まれ・奥平部)

今年は長女が中学校入学。3人の子ども達の成長が楽しみです。



相内利男さん、朝子さんご夫妻 (昭和14年生まれ・大川平)

ふたりの楽しみのひとつ「ふらっと 小さな旅」。体調を崩して出来ずにいたが、今年はぜひ実現したい。はやてに乗って孫にも会いに行きたいな。毎日元気で1日、1日を大切に。

# 祝 友好町締結20周年記念交流会



冬の知内川

知内町は北海道の南端、渡島半島の南西に位置する人口約5千3百人の町です。東側は津軽海峡に面して平野や段丘地が広がり、町のほぼ中央を知内川が流れています。海の幸・山の幸が豊富で特産品は「マコガレイ」や「しりうちいら」などがあります。毎年2月には「カキとニラまつり」が行われます。演歌歌手「北島三郎」さんの出身地でもあります。



「友好の証」の盾を参加者に披露する小鹿町長（左）と脇本町長（右）

昭和63年3月13日津軽海峡線が開業した際、今別町と知内町は互いに本州側と北海道側の青函トンネル入り口の町ということで、平成2年8月8日に友好町の締結をしました。以来、教育・文化・スポーツ・各種団体による交流が活発に行われ友好を育んできました。今年で友好町締結20周年を迎え、12月18日に知内町中央公民館で「知内・今別友好町締結20周年記念交流会」が開催され、今別町からは36名が出席し、両町合わせて約100人が参加して交流を深めました。



思い出のステージで「白いブランコ」を歌う木村清次さん



知内高校吹奏楽部の演奏は心が癒される素敵な音色でした



友好がさらに深まることを祈念し、懇談する参加者



カラオケなしで民謡を熱唱する小鹿清正さん

記念セレモニーでは、交流会実行委員長の八木年幸さん（知内町町内会連合会長）より主催者のあいさつがあり、両町長による「友好の証」の交換が行われました。両町長のあいさつの後には、「新幹線開業と青函圏交流について」と題し、北海道渡島総合振興局新幹線推進室主幹千葉繁氏による記念講演が行われました。交流会のアトラクションでは知内町立知内高校吹奏楽部の生徒が「函館の人」や「和田アキ子メドレー」を演奏し、参加者を楽しませてくれました。知内高校吹奏楽部は北海道吹奏楽団体コンクールで金賞を獲得し、東日本学校吹奏楽大会へ出場するなど目覚ましい活躍をされています。さらに両町の方々が次々と舞台上で登場し、カラオケで自慢の歌声を披露しました。両町が未来に向かい、さらなる飛躍と発展を誓い合った交流会でした。

## 新春インタビュー No.2

### きらりこの人 ⑩

中嶋 キミヨ さん (今別 74歳)



「自ら描いた水墨画の作品に囲まれて幸せです。」と中嶋さん

にらみつけるような鋭い表情のトラの水墨画はお気に入りの作品です。その作品の前で穏やかな微笑みを浮かべる中嶋キミヨさんにお話を伺いました。

200点を超えました。風景や四季の花、ウサギや犬などの動物。そして最も描きたかったのがトラでした。最新作であるトラの水墨画は引きつけられるような迫力のあるものに仕上がりました。水墨画の魅力は濃淡を出すところにあり、細かい作業で根気が要ります。50歳でリュウマチを発症したキミヨさんは「リュウマチの痛みで踊りをやめ、手に力が入らなくなり習字をやめてしまったが今は水墨画と出会えたことで、毎日が充実しています。」と、アトリエとも呼べる自宅の和室に並べられた作品の数々に囲まれ笑顔で話してくれました。



お気に入りの作品

キミヨさんはこれまでに両ヒザ、左股関節、頸椎と4回の手術をしています。今は車椅子に腰かけ机に向かい筆を走らせています。



町敬老会や結婚式などで踊ったおなじみの「黒田節」

ですが、リュウマチを発症する前は町内の踊りの好きな方々で結成した「青葉会」に属し、颯爽と踊りを披露していた姿が目につかびます。キミヨさんが一人で踊る「黒田節」は迫力満点でした。リュウマチ発症後も痛み止めの注射を打って、大好きな踊りを続けました。しかし、次第に足の痛みが増してやむなく踊りはやめました。

その後は書道に打ち込み、書道は2段の腕前です。しかし、リュウマチで握力も落ち、墨をする力もなくなり書道もやめざるをえませんでした。そして平成10年ころ公民館講座でキミヨさんは水墨画と出会います。講師は故本郷孔彦さんが務めていました。本郷さんは通信教育で水墨画の講師の免許を取得して、講座の皆さんに指導しました。「体が自由だけれど描きたい。入院していても早く治って描きたい」と創作意欲を掻き立てられた本郷さんや、娘や嫁が買ってくれる本の中から題材を選び毎日、毎日少しずつ、それも休むことなく描いています。「踊りが出来なくなった時は残念でしたが、生きている限り何かできるとの思いで、今は水墨画に取り組んでいます。」と持前の明るさで笑い声と共に語りかけていたと、こちらも何かしなくてはとの思いにかられます。創作活動を通じて日々を大切に生き、そのことで周りの方々に元氣を与えている。中嶋キミヨさんのきらりと輝く魅力です。

# こんにちは！知事です 県知事が中学校にやってきた



6人の意見発表者

12月6日、今別中学校に三村申吾青森県知事が訪れ、未来デザイン会議「こんにちは！知事です」が開催されました。

歓迎アトラクションで学校紹介を兼ねて全校生徒による「荒馬」を披露し、知事からさかんな拍手を受けました。生徒たちは荒馬の衣装のまま知事との意見交換会に臨み、3年の川村修平君の司会進行で3年木村ころさん、宮本拓也君、本間華純さん、2年の嶋中翼君、加賀谷光輝君、袖谷友梨さんの6人の意見発表が行われました。

生徒たちからは「東北新幹線全線開業をきっかけに、若い人からお年寄りまですべての人が楽しめる青森県になってほしい」、「農業収入を増やすために、リンゴを使って新しい商品開発をし、全国に広めたらどうか」などの意見がだされ、「町村活性化のためにどのような考えか」、また「自然環境や地域環境をよくするための施策は」など、活発な質問が飛び出しました。



知事も生徒たちの意見や質問に黒板を使って図を描いて、ひとり一人に丁寧に答えました。

さらに、発表者以外の生徒にもマイクを向け、より多くの生徒の意見を聞いていました。三村知事は、将来のなりたい職業に「知事」や「漫画家」などを挙げる中学生にかけより、握手や指さりをして生徒たちと触れ合いました。

最後に生徒からの感想発表があり、1年の吹田翔太君は、「将来も青森県に住みたいと考えているので、青森県を良くしたい」と述べ、2年の木村里菜さんは「三村知事はとても話しやすい方だと感じました」と述べました。

## 相内長男氏（鍋田）「森の名手」に認定



「森の名手」の認定証を手に喜びの相内さん

林野庁所管の「国土緑化推進機構」が認定する「森の名手・名人」にヒバの苗木生産に取り組み相内長男氏（鍋田・76歳）が選ばれ、このたび認定証が授与されました。本年度は青森県から2人だけの認定でした。

相内さんはヒバの苗木生産に長く取り組み組んでいます。霜や虫で全滅してしまったり失敗を繰り返して、10年ほど前ようやく成功しました。

県内でヒバの苗木生産に携わっている方は4、5人います。相内さんは「今後も丈夫な苗の生産に努めます」と語っていました。

## 今別町総合福祉展開催

12月5日、開発センターにおいて今別町社会福祉協議会（太田邦彦会長）主催の第28回今別町総合福祉展が開催されました。

会場には、「今別の味展」として海・農産物や家庭料理、保存食やしめ縄等の展示・即売が行われ、訪れた人々が買い求めています。さらに、手芸品、七宝焼アケセサリ、水墨画や福祉活動の写真など多くの作品展示がされていました。また、十五日会では我が家の一品料理を募集し、湯豆腐・キャベツいため・かぼちゃもちなど素朴な料理の出品があり、試食コーナーを設けて会場内で振舞っていました。歳末たすけあいアトラクションでは自慢のカラオケや踊りなども行われました。



試食コーナーでは中学生が湯豆腐をサービス



連合婦人会の手作りギョウザは大好評

## ハワイの曲に合わせて楽しく



シャロンさんの可愛らしい動きを真似ています

町連合婦人会の会員は2月11日開催予定の「婦人能祭」でフラダンスを披露しようと、ALTのシャロンさんから本場ハワイのフラダンスの指導を受けています。

「アロハ（私の愛しい人）」の曲に合わせて シャロンさんの柔らかな手や腰の動きを後ろから見て、習得しようとして一生懸命でした。芸能祭では完成したフラダンスを見せてくれることでしょう。

## 今年の収穫に感謝して！

### 今別小もちつき会



12月10日、今別小学校体育館で5年生が収穫したお米で「もちつき」をしました。初めてキネを持つ児童に、地域の方々がやさしく教えていました。

### 米粉でシュークリームを



12月10日、荒馬の里活性化センターで20名が参加し、米粉でシュークリームを作りました。出来上がった味を確かめこの表情です。「うん。おいしい！」

### 楽しく味噌づくり



大川平婦人会会員は一人10キロの大豆を持ち込み、荒馬の里活性化センターで「味噌づくり」に励んでいます。5～6人がグループになり、3回ほど行います。

### 今別町民生委員・児童委員を紹介します

任期：平成22年12月1日から平成25年11月30日

担当地区	氏名	連絡先
今別1区(八幡町)	石川 成子	35-3831
今別2区(新町・逗子・新道・寺町)	吉田 恵子	35-2110
今別3区(後町・三階町・団地)	欠員	
今別4区(西田)	嶋中 文子	35-3761
浜名	新井田優子	35-2270
大川平(下町)	嶋中美保子	35-2463
大川平(上町)	中道きみ子	35-3141
二股	相内 久江	35-2389
鍋田・関口	大畑 恒子	35-3278
村元	石岡多江子	35-3332
山崎	太田 初江	35-3623
大泊	吉田 すす	36-2008
褰月	小倉 博	36-2037
砂ヶ森	川口 明德	36-2364
奥平部	欠員	
主任児童委員	山内 和子	35-3064
主任児童委員	欠員	

## 平成23年申告相談のお知らせ

相談時間 午前9時から11時50分 午後1時から4時

対象地区名	期 日	場 所	備 考
奥平部・綱不知	2月8日(火)	奥平部地区集会所	集会室
砂ヶ森	2月9日(水)	多目的集会所	和室
褰月	2月10日(木)	褰月会館	二階和室
大泊	2月15日(火)	大泊文化会館	〃
山崎	2月16日(水)	山崎文化会館	和室
関口	2月17日(木)午前	関口会館	〃
鍋田	2月17日(木)午後	鍋田会館	〃
村元	2月18日(金)	村元会館	〃
大川平(上・中町)	2月22日(火)	大川平文化会館	小会議室
大川平(下町)	2月23日(水)	大川平文化会館	
二股	2月24日(木)	二股福祉会館	和室
浜名	2月25日(金)	浜名公民館	二階和室
今別	2月28日(月)	今別町中央公民館(今別)重点地区	集会室
団地・西田	3月1日(火)	今別町中央公民館(団地・西田)重点地区	〃
全町申告	3月2日(水)	今別町中央公民館	〃
	3月3日(木)		
	3月4日(金)		
申告予備日	3月8日(火)	上記日程が変更及び中止のときは予備日に変更になります。	
	3月9日(水)		

## 20歳から国民年金

■国民年金の給付は、3種類の基礎年金があります

### 老齢基礎年金

65歳から生涯受けられます。

### 障害基礎年金

病気やケガで障害の状態になった方が受けられます。

### 遺族基礎年金

夫が亡くなったときに子のある妻または子が受けられます。

被保険者の種類	第1号被保険者	第3号被保険者	第2号被保険者
対象者	20歳以上60歳未満の自営業の方、農林漁業の方、学生の方など	第2号被保険者に扶養されている配偶者	会社員、公務員など
保険料	国民年金保険料【定額】15,100円(平成22年度)	被保険者本人は保険料負担を要しない。配偶者の加入している年金の保険者が負担	厚生年金保険料率16.058%(平成22年9月現在)労使折半で保険料負担
国庫負担	基礎年金の国庫負担割合については、平成21年4月1日より、それまでの1/3から1/2へ引上げられました。		

■年金手帳は大切に保管しましょう

公的年金制度では、すべての制度に共通して使用される基礎年金番号が用いられています。国民年金や厚生年金に加入すると基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、加入記録や保険料の納付状況などがこの番号で管理されます。年金手帳は、年金に関する手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

◆申告の際に持参するもの

- ◎印鑑 ◎生命保険料控除証明書 ◎地震保険料控除証明書 ◎年金支払通知書(ハガキ) ◎医療費支払領収書(タクシー利用の場合は領収書を持参すること) ◎預金通帳(還付又は納付の際に必要です) ◎源泉徴収票(給与所得者・年金受給者)
  - ◎社会保険事務所より送付されている国民年金保険料控除証明書
- 《お問合先》役場 総務課税務担当 35-3008

## 青森県特定(産業別)最低賃金改正のお知らせ

必ずチェック最低賃金! 使用者も、労働者も

### 青森県最低賃金

平成22年10月29日から

時間額 645円

### 青森県特定(産業別)最低賃金

平成22年12月21日から

産 業 名	時 間 額
鉄 鋼 業	767円
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	702円
各種商品小売業	695円
自動車小売業	733円

※ 最低賃金に関するご相談・お問い合わせは 青森労働局 労働基準部 賃金室(TEL 017-734-4114) 又は最寄りの労働基準監督署へ。 青森労働局のホームページ(<http://www.aomori.plb.go.jp/>)でもご覧いただけます。

## 500円記念貨幣の引き換えのお知らせ

地方自治法施行60周年を記念して発行される青森県の記念貨幣は、1月19日(水)から金融機関窓口での引き換えが開始されます。同時に愛媛県・佐賀県の引き換えも行われます。

詳しくは、財務省のホームページをご覧ください。

財務省ホームページ

<http://www.mof.go.jp/jouhou/sonota/kokko/kk221201.htm>

《お問合先》ハローダイヤル050-5548-8686

(8時~21時、土日祝含む)

また、1月20日(木)から青森県立美術館での引換えまたは釣銭による配布も行われます。

《お問合先》青森県立美術館 017-783-3000

## 巡回相談のお知らせ

東地方福祉事務所では、配偶者暴力相談センター(DVセンター)として、身体的・精神的な暴力や離婚など様々な悩みについて、電話や来所による相談を行っています。

相談日は下記のとおりです。

開催日程 1月11日(火) 2月8日(火)

開催時間 午後1時~午後3時 開催場所 今別町開発センター

相談を希望される方は当日、直接会場にお出でください。また、事前に電話等で予約いただくこともできます。詳しくは下記に電話、またはメール等で照会ください。

《お問合先》東地方福祉事務所 TEL017-734-9951

メールアドレス HI-FUKUSHI@ref.aomori.lg.jp

# イマダス

## まちの行事予定 (1/1~2/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

1/4 (火)	・官公庁仕事始め	今別町
8 (土)	・親子スポーツ大会《中央公民館》	教育
13 (木)	・入学説明会《今別中学校》	教育
14 (金)	・今別町新年会《今別ホテル》	総務
17 (月)	・小、中学校3学期始業式	教育
20 (木)	・今別町文化賞・スポーツ賞授与式 《中央公民館》	教育
21 (金)	・ふれあい福祉スポーツ大会《開発センター》	社福
22 (土)	・元気なかつちの味自慢・うで自慢 《アスパム》~23日	産業
26 (水)	・乳幼児健診・フッ素歯面塗布	福祉
27 (木)	・高齢者世帯のつどい《開発センター》	社福
	・国民健康保険税第6期納期限	税務
31 (月)	・介護保険料第6期納期限	福祉
	・後期高齢者医療保険料第7期納期限	町民
2/2 (水)	・人権・行政相談日《中央公民館》	総務
4 (金)	・今別町社会福祉大会《開発センター》	社福
6 (日)	・今別町消防団鎮火祭《今別八幡宮》	総務

### 役場庁舎補修工事が終了しました

町では、9月から役場庁舎の補修工事を行ってきました。事務室の移動などで業務が分散し、町民の皆様には大変ご不便をおかけしました。

12月中旬に工事が完了し、リニューアルされた庁舎で業務を開始しています。

正面入口も広々とし、来庁者が座って会話ができるようカウンターを低くしました。



事務室内は一目で見渡せ、すっかり明るくなりました。

※町に住所を有する3歳以下(平成19年4月2日誕生日以降)の子どもさんを掲載しています。

(母 敬子さんの願い)

いつも元気で、笑顔のたえな  
い心のやわらかさになってほし  
い。

村川 一い  
(二股地区) ぶき ちゃん



## 63 町のたから

### 町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」  
①氏名 ②地区名 ③将来の夢

①田中 深雪さん

②奥平部

③薬剤師

私の夢は、薬剤師になること  
です。薬剤師は、医者と同じく  
いらい大変だけど、勉強をいつは  
いして薬剤師になりたいです。  
今年度は、修学旅行もあつ  
て、自主見学の時は迷って大変  
でした。  
来年度は中学生になるので、  
勉強や部活が大変になります。  
でも、遅れて行かないよう頑  
張っていきたいです。



### 「光」で私たちの生活はどうなるの？



町では、都市部との情報格差をなくするため国の交付金等を活用して、全町に光ファイバーを整備しました。

工事完了に伴い、NTT東日本では「フレッツ光」のサービスを12月1日よりを開始しており町内全域で利用できるようになりました。

(加入申し込みが必要です。)

そのサービス等をご紹介します。

#### 「フレッツ光」でもっと便利に、もっと楽しく、もっとお得に

- ① インターネット接続サービスでパソコンのインターネットでの検索やダウンロードなどがより速く！動画もスムーズに。また、より多くの情報(動画)を送ることができます。
- ② ひかり電話サービスで通話料がお得に！  
電話番号はそのまま、通話料は全国一律に3分で8.4円です。
- ③ 光テレビサービスが楽しめます。  
・専門チャンネルが楽しめます。

※②、③は「フレッツ光」の契約とは別契約が必要です。さらに工事費用、月額利用料がかかります。

フレッツ光(インターネット接続サービス)、ひかり電話等のサービス利用には初期工事費や契約料、毎月かかる料金が発生します。

詳しいことは、NTT東日本一青森へお問い合わせください。

電話0120-116-116(午前9時から午後9時まで)

※中央公民館に「フレッツ光」を無料体験できるパソコンを1月中旬に設置予定です。ぜひ、体験してみてください。

### 編集後記

新年あけましておめでとござい  
ます。

これまで私の前を何人の方々が行き  
来したことでしよう。後ろの建物は最  
初は小学校だったのでそれはそれは賑  
やかでした。その後、青森工業高校今  
別分校となり、若者たちが青春を過ご  
す姿を見ってきました。

そして後に役場となり、ねぶたや仮  
装行列の最後には皆の記念撮影の場所  
となりました。多くの写真に私も写っ  
ているのを皆さんも目にしていること  
でしょう。

一昨年は中央公民館が改修され、昨  
年末は町役場の改修が行われました  
が、何もお手伝いできずただただ邪魔  
にならないよう建っているだけでし  
た。これからはここで町の変遷を  
みつめていくだけです。今年もよろし  
くお願いします・・・と役場前の二宮  
金次郎の像のつばやぎが聞こえてきま  
した。

(広報担当 木津歌子)

### 戸籍の窓口

(11月1日から30日までの届出分)



#### お悔やみ申し上げます

小倉	きさ	(95)	砂ヶ森
小鹿	嘉一	(95)	西田
相内	たせ	(91)	大川平
澤田	忠光	(71)	関口
唐川	やよ	(83)	大川平
畠山	かち	(90)	関口
佐藤	よつ	(79)	今別
田中	武羅	(80)	奥平部
藤田	省三	(67)	今別
相内	ミエ	(71)	二股

#### 今別の姿

(平成22年11月30日現在)

面積	125.28km <sup>2</sup>
人口	3,438人(-17)
男	1,607人(-9)
女	1,831人(-8)
世帯数	1,572(±0)
( )内は前月比	

掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課町民担当へ申し出て下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様申し出て下さい。